



WINE CELLAR

WD-30/WD-300

ワインセラー 30本収納タイプ

Angelshare

このたびは、家庭用電子式ワインセラー(30本用) WD-30、WD-300 をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みいただいた後は保証書とともに、大切に保管してください。

ご注意

本機は日本国内専用です。交流100V以外のコンセントには接続しないでください。
本書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

本機はワインの良好な貯蔵環境を提供するもので、ワインそのものの品質を保証するものではありません。
また、ワインセラーの運転状態や庫内温度、ワインの保存状態、結露の状態など常に注意を払うよう心がけてください。

なお、万一、停電、本機の故障、取り扱い不良によるワインの劣化などがありましてもワインそのものの弁償は致しかねますのでご了承ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お取扱いや、お手入れに関するご不明な点や、修理に関するお問い合わせは下記のカスタマーサポートセンターにご相談ください。

《本製品に関するお問合せ》

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

電話 048-664-3477

e-mail: customer.support@devicestyle.co.jp

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

営業時間: 平日午前9時～午後6時
(土日、祝日及び長期休暇を除きます。)

もくじ

はじめに	2	湿度調整のしかた	17
安全上のご注意(必ずお読みください)	3	その他の機能	18
おもな特徴	5	お手入れのしかた	19
ワインを保存する(ワインセラーを上手に使う ために)	6	キッチンインストール用止め金具の取り付けかた	22
据え付けについて	9	こんな表示が出たときは	23
各部の名前	11	故障かな?と思われる前に	24
ワイン棚を変更するとき	12	保証とアフターサービス	25
庫内温度を設定する	14	主な仕様	26
湿度表示について	15		

安全上のご注意(必ずお読みください)

製品を安全にご使用いただくため、ご使用前によくお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

表示の意味



警告

この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示は、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることをあらわします。図の中や下に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容をあらわします。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



警告



改造禁止

修理改造をしない。

発火や、異常動作をして、破損や、けがの原因となることがあります。



禁止

濡れた手でプラグを抜き差ししない。

感電の恐れがあります。



守る

電源プラグは専用コンセントに差し込む。

一つのコンセントから複数機器をつなぐ「たこ足配線」をすると、ショート、火災の恐れがあります。



禁止

電源コードを無理に曲げたり加熱したり、ステーブルで止めたり、重いものを乗せたり、そのほか無理のかかることをしない。

ショートや、感電、故障の原因となります。



守る

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。

差込が不完全だと、感電や、ショート、発火の原因となります。



禁止

ワインセラーの上にもものを置かない。

落下してけがをしたり、水がこぼれて、漏電や、火災の恐れがあります。



禁止

交流100V以外のコンセントに接続しない。

他の電源に接続すると故障や、発火の原因となります。



守る

お子さまのいたずらにご注意。

扉にぶら下がったり、上に乗ったりしないようにご注意ください。けがや、感電、故障の恐れがあります。



禁止

本体や、庫内に水をかけない。

ショートや、感電、故障の原因となります。



禁止

棚の上など高いところに置かない。

地震などで転倒すると、けがや、故障の恐れがあります。



禁止

風呂場など湿度の高い場所に設置しない。

ショートや、感電、故障の原因となります。



守る

吸・排気口にピン、クリップ、針などの異物を入れない。

故障、火災や感電の恐れがあります。

**警告****禁止**

可燃性スプレーをワインセラーにかけたり、近くで使ったりしない。

電気接点の火花などで引火する恐れがあります。

**禁止**

ほこりの多い場所には設置しない。
電源プラグにほこりが付着するとショートや、過熱、故障の原因となります。

**プラグを抜く**

お手入れの際は電源プラグを抜く。
感電の恐れがあります。

**プラグを抜く**

煙が出たり、異常なおいがしたり、異音が出るような場合は、すぐに電源プラグを抜いて、修理をご依頼ください。



廃棄をするときはドアパッキンを外す。
幼児が閉じこめられる恐れがあります。
※ドアパッキンは強く引っ張るとはずせます。

**注意****プラグを抜く**

長期間使わないときはプラグをコンセントから抜く。

けがや、劣化による感電、漏電による火災などの原因となります。

**禁止**

本体をアルコール、シンナーなどの薬品で拭かない。

塗装を傷つけたり、プラスチックを痛めます。

**禁止**

不安定な場所に置かない。
故障や、転倒によるけが、感電の恐れがあります。

**禁止**

ワイン以外のものを保存しない。
温度や、湿度がワイン専用に設定されています。その他の食品の保存には適しません。

**禁止**

ワインは不安定な状態で保存しない。
ワイン棚の定められた場所に不安定にならないように保存してください。
ワインが滑り落ちて、けがや、故障の原因になります。



移動するときは引きずらない
床材を傷つける恐れがあります。

**禁止**

ワインを積み重ねたりしない。
ワインが滑り落ちて、けがや、故障の原因となります。

**守る**

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずプラグを持って抜く。
断線や、感電、ショート、発火の原因となります。

**禁止**

本体を水や洗剤などに浸さない。
故障の原因となります。

おもな特徴

ワインの保存、熟成には15℃前後(6ページ参照)の一定の温度で、温度変化が少なく、振動のない場所で、しかも、適度に湿度のある紫外線などの当たらない場所に保管しておく必要があります。せっかくおいしいワインを手に入れても一般のご家庭ではワインをおいしく保存、熟成しておける環境がありません。

家庭用電子式ワインセラー WD-30、WD-300は、ご家庭で手軽に理想的な保存環境を提供いたします。

マイコン内蔵によるフルデジタル制御

WD-30、WD-300は内蔵のマイコンにより、温度や湿度を常時監視し、きめ細かな管理を可能にしています。また、誤使用などによる異常をお知らせする機能で大切なワインを守ります。

飲み残しも保存できるよう立てて置くことも可能

全く新しい機構のワイン棚を採用、必要に応じて、棚を入れ替えてボトルを立てて置くスペースを設けることができます。

置き場所の制約が少なく、省スペース設計

WD-30、WD-300は独自の放熱機構により、背面や側面に放熱スペースを設ける必要がありません。奥行き約55cmでシステムキッチンの奥行きにもぴったりとフィットします。

ワインの保存に最適な温度と、家庭用冷蔵庫の1/5(当社調べ)の温度変化

WD-30、WD-300は流す電流によって、温度をコントロールできるペルチェ素子を採用し、高性能な温度センサーとマイコンによる精密な温度制御を実現します。

本機はワインの品種や、産地によって庫内温度を約12℃から18℃まで1℃間隔で設定することができます。

外気温度が低くてもOK

一般の冷蔵庫と異なり、ペルチェ素子*に流す電流の量や、流す向きを常にコントロールすることにより外気温度が設定温度よりも低い場合でも庫内を暖めて、一定の温度に保ちます。

振動が少ない

ワインには振動も禁物です。ペルチェ素子には可動部がありませんので、一般の冷蔵庫のようにコンプレッサーがオン・オフするときに発生する振動がありません。

適度な湿度が保てる

コルク栓ちぢみの縮を防ぎ、ワインの酸化を防止するために、ワインの保存には湿度65%以上が最適です。本機は一般の冷蔵庫のように乾燥することなく、ワインの保存に最適な約65%以上の湿度が保てます。

静かな運転音

WD-30、WD-300はコンプレッサーが無く、静粛性を実現するために特別に設計された小さなファンが回っているだけです。そのため静かな室内でも運転音がほとんど気になりません。

環境にやさしいノンフロンタイプ

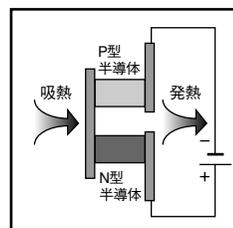
WD-30、WD-300は冷媒(熱交換するためのフロンなど)を使用していないため、環境にもやさしい設計です。

* ペルチェ素子とは

2種類の金属や、半導体の接合されたものに直流電流を流すと一方は吸熱し、反対側は発熱する効果があります。これを発見者の名前をとって、ペルチェ効果と言います。

このペルチェ効果を応用したペルチェ素子の最大の特徴はポンプなどの可動部を使わずに、しかも電流の量や、向きを変えることによって、温度コントロールが自由にできる点です。

本機は、このペルチェ素子ユニットを2基搭載しています。



ペルチェ素子の原理

ワインを保存する(ワインセラーを上手に使うために)

ワインセラーは、ワインを短期的に保存しておくだけでなく、長期間の保存、熟成を楽しむことができるように設計されています。

次のことを参考に、ワインをおいしく保存するようにしてください。

最初に電源を入れたときは

ワインセラーは最初に電源コードを挿し込んでから1日ぐらいおいてからワインを入れてください。庫内の温度が安定するまで外部環境によって数時間から1日ほどかかります。

ワインセラーの温度設定は

WD-30、WD-300は12℃～18℃の範囲で1℃間隔で設定することができます。(設定方法は14ページを参照してください。)

ワインの保存温度と飲み頃温度とは異なります。適正な保存温度を保っておいしく保存するようにしましょう。

ワイン保存温度の目安

フルボディーの赤ワインなど熟成のゆっくり進むワイン:15℃前後

白ワインなど熟成が早めのワイン:12℃から13℃

室温のワインを入れるときは

ワインを購入してワインセラーに入れる場合、室温のまま入れるとすでに収納されているワインの温度にも影響が出ます。そのため、一時的に冷蔵庫などで温度を下げってからワインセラーに入れるようにしてください。長期間冷蔵庫に収納しておくことは禁物です。

ワインを入れるときは

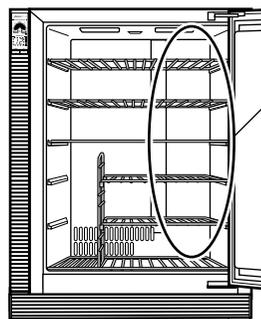
本機の1枚の棚に標準的なボルドータイプの750mlのボトルで5本収納できます。

ボトルの口を手前にして、ラベルは上向きにして収納します。

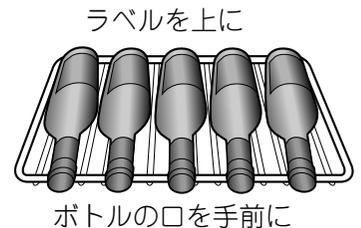
また、飲みかけのワインを収納したり、飲む前に^{おし}澱を沈殿させるときなどワインボトルを立てて収納することもできます。(12ページ参照)

^{おし}澱を沈殿させるときは数時間から1～2日立てておきます。

庫内の右側は、通常より背の高いワインを収納することができます。



奥行きが深い部分



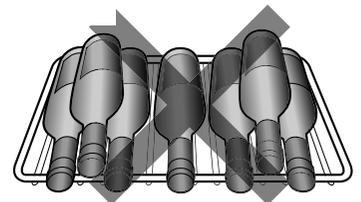
ラベルを上

ボトルの口を手前に

⚠ 注意

ワインを置く場合、1つの棚に5本までにしてください。本数を多くしたりボトルを重ねて置いたりすると崩れたり、滑り落ちたりする危険があります。

また、棚を外して積み重ねたりしないでください。



ワインを保存する(ワインセラーを上手に使うために)(つづき)

- ・一見して清潔そうに見えるワインボトルにも、微量のカビが付着している事があり、外気に比べて湿潤に保たれたワインセラーの中で突然繁殖することがあります。(ワインセラーよりもはるかに低い保存温度の冷蔵庫でもカビが発生する事があります。)
- ・庫内でたとえカビが発生しても、ワインコルクは十分な湿度を保っているので内部のワインに問題はありませんが、ボトルやラベルをより美しく保つためのコツとして、以下を参考にご使用ください。

カビの発生を少しでもおさえるために

1. ボトルをきれいに拭く

ワインのボトルにはカビの胞子が付着していることが良くあります。

保存される前に、ワインのボトルを良く拭いてください。

まず、清潔な柔らかい布をぬるま湯で浸した後、強く絞ってボトルやラベル、キャップをよく拭きます。ボトルの底の窪みやコルク廻り、ラベルの端面など思わぬ所にカビの胞子が潜んでいることがあります。

その後、もう一度乾いた柔らかい布でよく拭きます。

その際、手の指紋や脂をボトルに出来るだけつけない様にする事が大切です。



2. ワインのラベルをラップで巻いて

ワインのラベルはカビが繁殖しやすい場所です。ラップをまいて外気と触れないようにすると、カビの発生を少しでもおさえることができます。

- ・ラップはワインのラベルより少し大きいくらいのものを使用してください。あまり大きなものを使用するとラップにしわが出来て、ボトルと十分に密着しません。

(普通のラップ幅の半分位のミニサイズが便利です)

- ・ラップの巻き始めはしわになり易いので、図のようにワインのラベルに掛からない位置から巻くと良いです。

巻きつけるときは、ラップを引っ張りながら、ボトルに押し付けるように2回巻いてください。巻きつけた後で、ラップから余計な空気を押出しておく事がコツです。





露が付いたり、カビが発生したときは

庫内はワイン貯蔵に適した湿度となっており、通常の冷蔵庫と比べると高い湿度を維持しています。そのため、露や水滴が付着したり、ラベルやコルクにカビが発生することがありますが、ワインの保存に影響はありません。露が付いたときは乾いた布で拭き取ってください。また、カビが付いたときは水を含ませ、きつく絞った布で丁寧に拭き取ってください。

7ページを参考に、ワインのボトルにラップを巻いておくことと長期間保存してもカビが付きにくくなります。

ワインの^{オリ}澱について

ワインを保存しておくことと下に固形物が沈殿していることがあります。これは澱と言って、ワインの熟成過程で自然に発生するもので、体に害を与えるものではありませんがワインの風味を損ねるものです。

特に澱の多い場合は、ボトルの底に下がりきらない場合もあります。このときは澱がグラスに混ざらないようにボトルを立てて、数時間から1～2日立てておくか、またはデカント*をして澱を取り除いてからグラスに注ぐようにしてください。

*デカント(デカンタージュ)

おもにワインの澱を取り除く目的で、ボトルからデカンターと呼ばれる器に移し替えることを言います。デカントをすると、一般には今まで眠っていたワインの香りを引き出す効果があります。ただしデカントの効果は、ワインの種類やヴィンテージなどによって一概にはいえません。

ワインは飲み頃温度にして

ワインの熟成、保存に適した温度と、おいしい飲み頃の温度は異なります。

お召し上がりになる前に飲み頃温度にしてからお楽しみください。

ボルドーの赤など重めの赤ワインは18℃前後、ポジョレー・ヌーボーなど軽い赤は12℃などが目安となります。

ロゼや、白ワインは10℃前後、スパークリングワインは5℃位が適温とされています。

冷やしてお飲みいただく場合はワインクーラーなどをご使用ください。

飲み残したワインは

飲み残したワインは空気に触れないようにしておくことが大切です。一例として、-halfサイズのボトルに移し替えた上、なるべく空気の入らないようにいっぱいにし、しっかりとコルク栓をするとワインの劣化を防ぐことができます。

本機ではコルクからワインがしみ出る恐れがあるときはボトルを立てて収納しておくことができます。

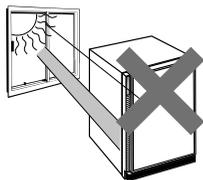


据え付けについて

据え付け場所のご注意

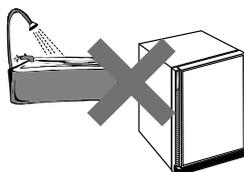
直射日光や、暖房器具など熱の当たらないところ

熱効率を良くして、電気代のムダを無くしましょう。



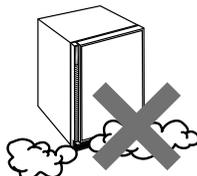
湿気が少ないところ

湿度が高いとサビや故障の原因になります。



ほこりの立ちにくいところ

ほこりが多いとフィルターが目づまりし易く庫内温度が適正に保てなくなります。フィルターが目づまりしたときは19ページを参考にお掃除をしてください。

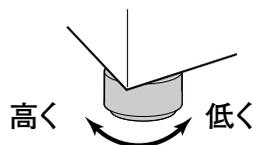


丈夫で水平な床面に置く

きしみ、傾きなどのない丈夫な床に、がたつきがないように設置してください。

がたつきがあると、ファンの微細な振動でも気になることがあります。

四隅の調整脚を回して、高さを調整することができます。

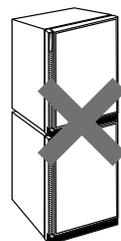


出荷時は一番低く設定してあります。

じゅうたん、カーペット、ビニールタイルなどの上に直接置くとあとがつきます。この場合は丈夫な板を敷いて、その上に設置してください。

積み重ねたり、棚の上などに置かない

地震などで転倒すると、けがや、故障の恐れがあります。

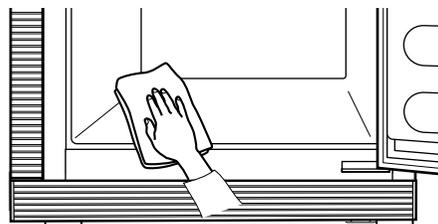


ラジオ・テレビ・電話機などから離しておく

ラジオ・テレビ・電話機などの近くに置くとラジオ・テレビ・電話機などに雑音や、画面に縞模様が入ることがあります。

庫内の清掃をする

ご使用の前に、ぬるま湯を浸してよく絞った布で庫内を拭いてください。

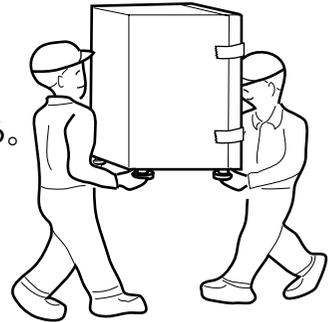


運搬、移動をするときは

移動をする前に

1. 電源プラグを抜く。
2. ワインを全て取り出す。
3. 湿度調整ボックス、水受けトレイは外す、または中の水を捨てる。
4. 扉が開かないようにテープで固定する。
5. アンダーグリルを外す。
6. 調整脚がゆるまないように右に回して締める。

※各部分の位置は「各部の名前」(11ページ)を参照してください。



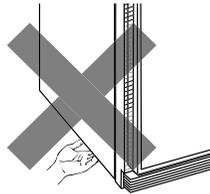
四隅の調整脚を持つ

移動をする時は

四隅の調整脚を持って、二人以上で運んでください。



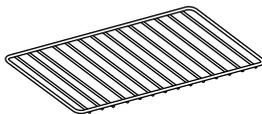
- 電源コードを引っ張ったり、足に引っかけたり、または、絡んだりしないようにご注意ください。
- 移動するときは絶対に引きずらないでください。
- ワインセラーの底の部分に手を入れると金属の断面に触れて、ケガをする恐れがあります。



付属品

ご使用前に下記の付属品をご確認ください。

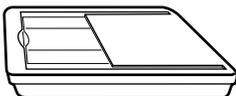
ワイン棚A (5枚)



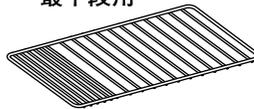
アンダーグリル



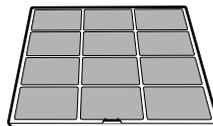
しつど
湿度調整ボックス



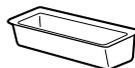
ワイン棚B (1枚)
最下段用



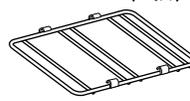
フィルター



水受けトレイ



ワイン棚C用支え
(1枚)



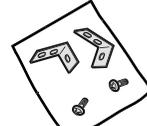
ドアロックキー
(2個)



ワイン棚C (2枚)



止め金具セット

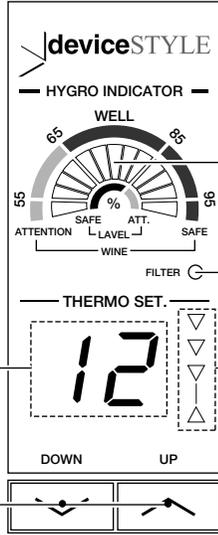


ドレインコック用キャップ



各部の名前

表示パネル部



しつど
庫内湿度表示(15ページ)

フィルター掃除のお知らせランプ
(19ページ)

設定温度表示
(14ページ)

運転状態のお知らせランプ(14ページ)

冷却中は青色の▽ランプが1~3個点滅します。
加温中は赤色の△ランプが点滅します。

温度設定ボタン
(14ページ)

庫内灯(扉を開くと点灯します。)

しつど
庫内湿度センサー

ドアパッキン

表示パネル部

サイドグリル

ワイン棚A

キーカバー

ドアロックキー
(18ページ)

ワイン棚C用支え

ワイン棚C

ワイン棚B

調整脚(4ヶ所)

リセットボタン
(20ページ)

フィルター(19ページ)

底の部分にセットしてあります。

水受けトレイ

アンダーグリル

しつど
湿度調整ボックス(17ページ)

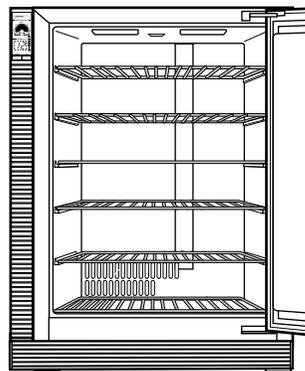
使用するときには一番下の棚(ワイン棚B)の下にセットします。冬期間など外気の湿度が低いときだけ使用するようにしてください。

ワイン棚を変更するとき

ワイン棚はすべてのボトルを横に寝かせて、最大30本(ボルドータイプの750mlボトル)収納できるセットのしかたと、一部のボトルを立てて収納できるセットのしかたがあります。
用途に合わせて入れ換えてください。



「一部縦置きタイプ」



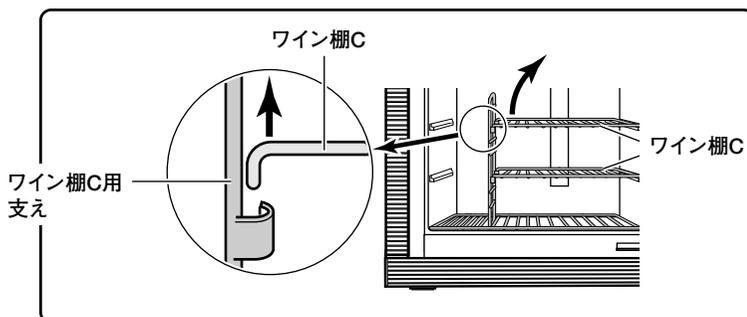
「30本収納タイプ」

30本収納タイプにセットする

工場出荷時は「一部縦置きタイプ」に設定されています。
「一部縦置きタイプ」から「30本収納タイプ」に変更するときは次の手順で変更します。

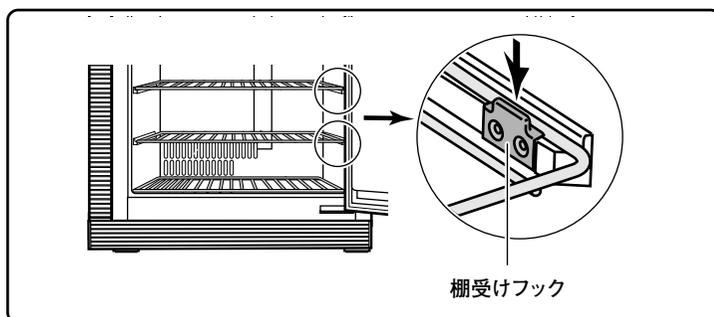
1 ワイン棚C 2枚とワイン棚C用支えを取り外す

ワイン棚Cを上引き抜いて取り外し、ワイン棚C用支えを取り外します。



2 付属のワイン棚A 2枚を取り付ける

本体の棚受けに付いている棚受けフックに確実に保持されるようにセットしてください。

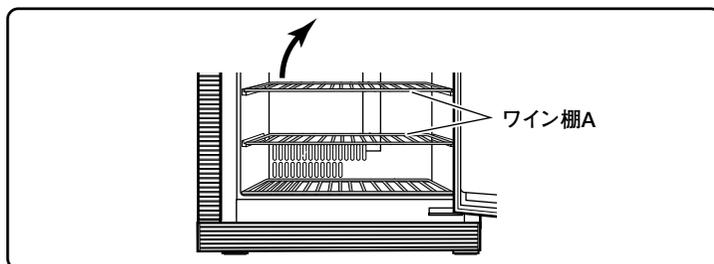


一部縦置きタイプにセットし直す場合

30本収納タイプから一部縦置きタイプに変更するときには次の手順で変更します。

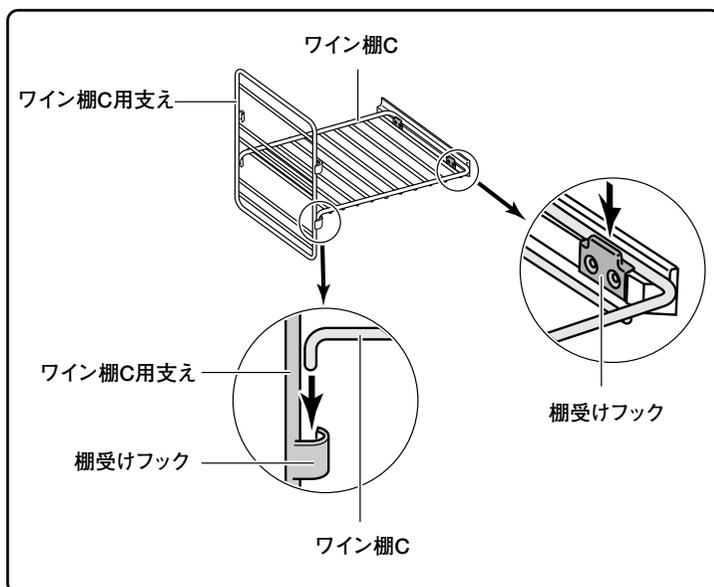
1 ワイン棚A 2枚を取り外す

ワイン棚Aの下2枚を上引き上げて取り外します。



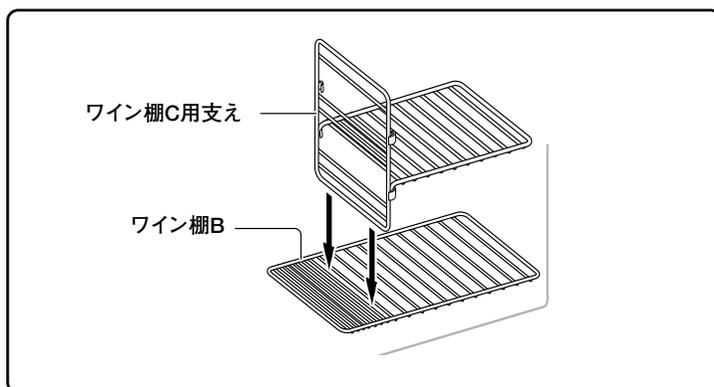
2 下側のワイン棚Cをセットする

ワイン棚C用支えの棚受けフック(下側)にワイン棚Cの左側を挿し込み、右側を本体の棚受けフックに掛けます。



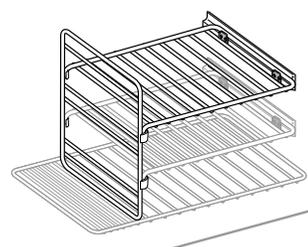
3 ワイン棚C用支えをセットする

最下段のワイン棚Bのワイヤーの間にワイン棚C用支えをセットします。



4 上側のワイン棚Cをセットする

手順 2 と同様に上側のワイン棚Cを取り付けます。



● ワイン棚Cは必ず2枚ともセットしてください。

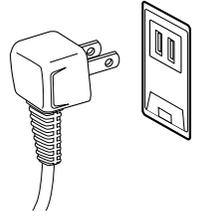
庫内温度を設定する

1. 電源コードを挿し込む

壁のコンセントに電源コードを差し込みます。

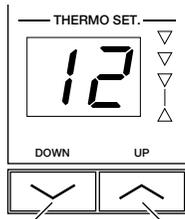
電源コードをコンセントに差し込むとワインセラーの電源が入ります。

一つのコンセントから複数の機器をつなぐ「たこ足配線」はしないでください。



2. 温度設定をする

初めてお使いになるとき、庫内温度は12℃に設定されています。お好みに合わせて、調節してください。



温度設定ボタン

- 表示部下にある温度設定ボタンを押します。
- 押すごとに1℃ずつ変化します。
- 12℃から18℃の範囲で設定することができます。

温度を下げる 温度を上げる

お知らせ

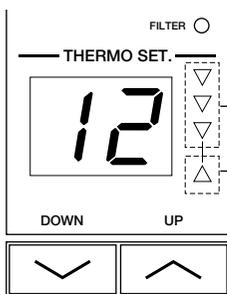
温度設定の基準は・・・庫内の平均温度を基準にしています。

表示パネルの温度は庫内の設定温度です。

※ 設定温度に到達して、温度が安定するまでには外部環境により、1日程度かかることがあります。

※ 庫内の上部、下部など、場所により温度が異なることがあります。また、ワインの収納本数や、扉の開閉頻度などによっても温度が上下することがあります。

運転状態のお知らせ表示



冷却運転表示ランプ

青色のマランプが点滅しているときは、設定温度より庫内温度が高いため、冷却運転をしています。

点滅しているランプが多いときは全力冷却運転をしています。

加温運転表示ランプ

赤色の△ランプが点滅しているときは、設定温度より庫内温度が低いため、加温運転をしています。

お知らせ

- 扉の開閉や、ワインの収納状況により、ランプの点滅がしばらく続くことがあります。庫内温度が安定すると、ランプは自動的に消えます。
- 周囲の温度が高いときや、低いときにランプの点滅が消えないことがあります。これは、庫内を設定温度に保つため、「冷却運転」または「加温運転」を続けている状態です。



運転表示ランプが消えているときは：

庫内温度が、ほぼ設定温度になっている状態です。

扉の開閉時間を少なくすることなどで、安定状態を長く保つようにしましょう。

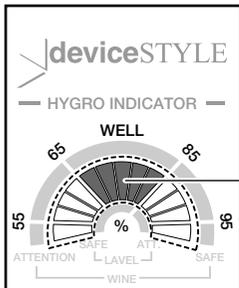
しつど 湿度表示について

ワインにとって保存時の乾燥は大敵です。本機は一般の冷蔵庫のように乾燥させることが無く、適度な湿度を保つことができます。また、特に乾燥する季節には湿度調節ボックスを使用することにより、乾燥を防ぐことができます。

表示パネル部分には庫内の湿度の状態を表示してありますので適切な湿度管理が可能です。

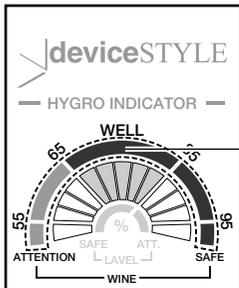
しつど 庫内湿度表示

表示パネル部の庫内湿度表示は下のようなお知らせ機能をもっています。



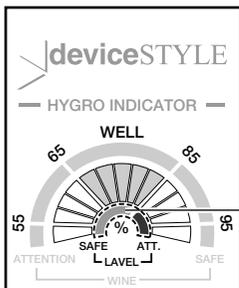
庫内湿度

庫内の湿度をランプで表示します。



ワイン用湿度スケール

ワインの貯蔵に対して良好かどうかを色分けで示してあります。(緑色の範囲が良好な範囲です。)



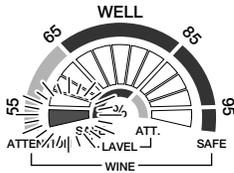
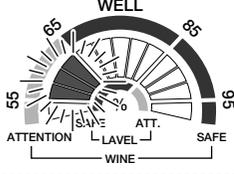
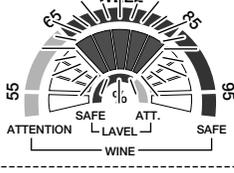
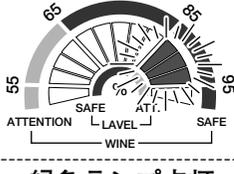
ラベル用の湿度スケール

ラベルのはがれ、結露、カビなどに対し、安全かどうかを色分けで示してあります。(緑色の範囲が安全な範囲です。)

お知らせ

- 表示は一般的な目安です。ラベルの材質、のりの種類その他によって、湿度が高くなっても、ラベルのはがれなどが発生することもあります。

しつど
庫内湿度表示の見かた

表示ランプ	庫内湿度	対応
<p>— HYGRO INDICATOR —</p>  <p>赤色ランプ点灯</p>	<p>湿度55%以下</p> <p>ワイン貯蔵にとって非常に好ましくない湿度です。</p>	<p>湿度調整ボックスを使って調整する。 (次ページ)</p>
<p>— HYGRO INDICATOR —</p>  <p>黄色ランプ点灯</p>	<p>湿度55~65%</p> <p>ワイン貯蔵にとってあまり好ましくない湿度です。</p>	<p>湿度調整ボックスを使って調整する。 (次ページ)</p>
<p>— HYGRO INDICATOR —</p>  <p>緑色ランプ点灯</p>	<p>湿度65~85%</p> <p>ワイン貯蔵にとって良好な湿度です。 ラベルのはがれなどにとっても安全な湿度です。</p>	<p>良好な状態です。</p>
<p>— HYGRO INDICATOR —</p>  <p>緑色ランプ点灯</p>	<p>湿度85~95%</p> <p>ワイン貯蔵にとっては良好な湿度ですが、ボトルに水滴が付いたり、ラベルのはがれやすくなる湿度です。</p>	<p>湿度調整ボックスを取り出す。 (次ページ)</p>
<p>— HYGRO INDICATOR —</p>  <p>緑色ランプ点灯</p>	<p>湿度95%以上</p> <p>ワイン貯蔵にとって良好な湿度ですが、ボトルに水滴が付いたり、カビの発生や、ラベルのはがれの危険が大きい湿度です。</p>	<p>湿度調整ボックスを取り出す。 それでも湿度が下がらない場合はドレインコックをふさぐ。 (次ページ)</p>

お知らせ

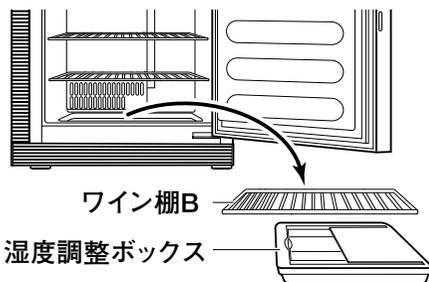
- 初めてお使いになるとき、庫内の湿度が安定するまで、一週間ぐらいかかることがあります。また、使い始めは湿度が少しずつ上がるため、赤色または黄色のランプがしばらく点灯したままになりますが、故障ではありません。
- 庫内の湿度は、周囲の湿度状態によって変化します。湿度表示を参考に、湿度調整ボックスをご使用ください。(次ページ参照)

庫内湿度表示を参考に湿度調整ボックスを使って庫内湿度の調整をします。
湿度は、調整してすぐには変わりません。一週間ほど経過を確認しながら調整してください。

しつど
湿度調整ボックスで湿度を調整するとき

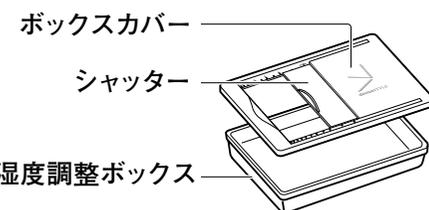
1 ^{しつど}湿度調整ボックスを取り出す

ワイン棚Bを取り外し、庫内底部に設置してある湿度調整ボックスを取り出します。
取り出すときは下段のワインを一度取り出してから作業してください。



2 ^{しつど}湿度調整ボックスに水を入れる

ボックス内に70～80%の水道水を入れ、カバーをしっかりと押さえて取り付けます。



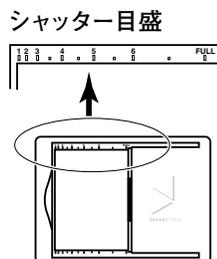
お知らせ

- 湿度調整ボックスには水道水以外は入れないでください。水道水以外では、ぬめりやカビが発生し易くなります。

3 シャッターの開口部を調節しワインセラーに戻す

シャッター調節の目安

庫内湿度	ランプ色	シャッター目盛の目安
55%以下	赤色ランプ点灯	FULL
55～65%	黄色ランプ点灯	FULL～5
65%以上	緑色ランプ点灯	閉め切って様子を見る

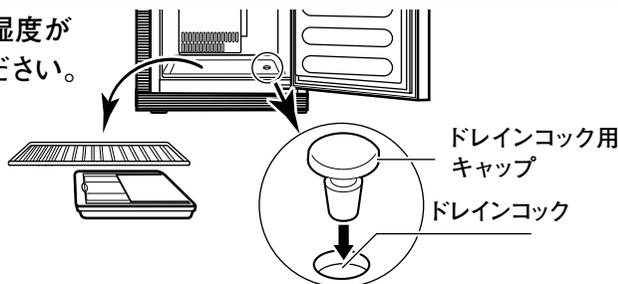


- シャッターを閉め切っても湿度が下がらないときは湿度調整ボックスを取り出してください。

ドレインコックをふさいで湿度を調節するとき

夏季などで湿度調整ボックスを取り出しても湿度が下がらないときはドレインコックをふさいでください。

ワイン棚Bと湿度調整ボックスを取り出すと、庫内の左奥にドレインコック(排水用小穴)があります。
付属のドレインコック用キャップでドレインコックをふさいでください。



お知らせ

- 外部環境、ワインの収納状態や、扉の開閉具合によって、庫内の湿度状態は変化します。湿度の高い夏期などに湿度調整ボックスを使用すると庫内や、ワインのボトルに露や、水滴が付着し、カビが発生したり、ラベルがはがれたりすることがあります。
湿度が高すぎるようなときは、湿度調整ボックスの水を捨て良くふき取り、ボトルに付着した水滴も良く拭き取ってください。(7ページ参照)
- 湿度調整ボックスを使わないときは水洗いをし、良く乾燥させてから元に戻してください。

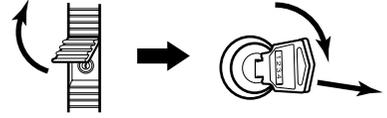
ドアロックキーの使いかた

付属のキーにより、ドアをロックすることができます。

1 ドアロックキーのカバーを開ける

2 扉をロックをする

扉が完全に閉まった状態で付属のキーを挿し込みます。
右に止まるまで回して、キーを抜きます。



ロックを解除するときは上記と逆の手順で操作してください。

お知らせ

- 扉をロックした状態で無理に開けないでください。故障や、破損の原因になります。
- ロックの金具が出た状態で扉を閉めないでください。金具が破損する可能性があります。
- キーは無くさないようにご注意ください。また、必ずキーの番号を控えて、保証書とともに保存しておいてください。

キーの番号:

お手入れのしかた

ワインセラーを清潔に保ち、また安全にお使いいただくために年に1回は電源プラグを抜き、庫内の清掃とプラグの点検をしてください。

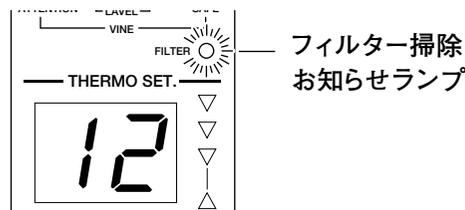
また、フィルターなどは目づまりすると冷却効率が悪くなるばかりでなく、庫内が冷えなくなる恐れがあります。3ヶ月に一度は清掃してください。(ほこりの多い所でご使用の時はよりこまめにチェックしてください。)

警告

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電の原因になります。
- 本体や、庫内に水をかけない
漏電や、火災の原因になります。
- 電源プラグのほこりは定期的に取り除く
ほこりは漏電や、火災の原因になります。

フィルターのお手入れ

表示パネル部のオレンジ色の「フィルター掃除お知らせランプ」が点灯または点滅して、警告音が鳴ります。

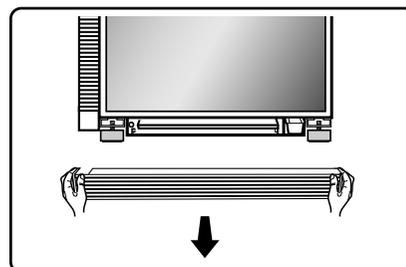


ランプ	警告音	内容
点灯	ピピッ.....ピピッ.....ピピッ.....	お手入れの時期が来ましたので掃除してください。
点滅	ピッ.ピッ.ピッ.ピッ.	フィルターが汚れています。すぐに掃除をしてください。

フィルターは次の手順で掃除してください。

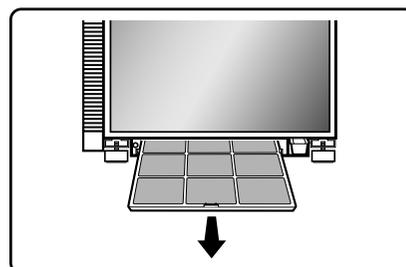
1 アンダーグリルを外す

アンダーグリルの両端を持って手前に引いてください。



2 フィルターを引き出す

フィルターのつまみを持ち上げ、手前に引き出します。



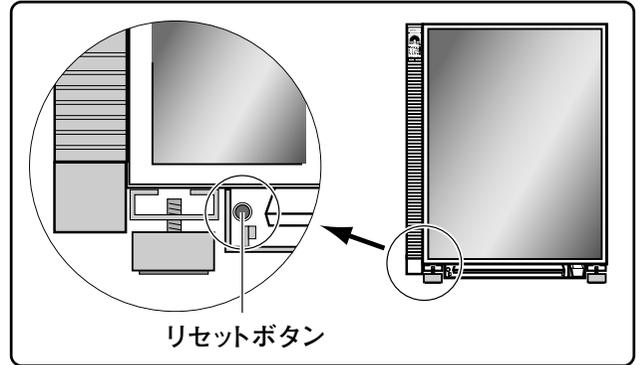
次ページへつづく

3 フィルター掃除する

フィルターに付着したほこりなどを掃除機で吸い取ってください。
汚れがひどいときは、水洗いし、良く乾かしてから取り付けてください。

4 フィルターを取り付け、リセットボタンを押す

フィルターを元通りに取り付けた後、フィルター挿入口の左側にあるリセットボタンを押してください。
リセットボタンが押されると「フィルター掃除お知らせランプ」が消灯し、警告音も止まります。



5 アンダーグリルを取り付ける

アンダーグリルの両端を持って、本体に押し込むようにして取り付けます。

お知らせ

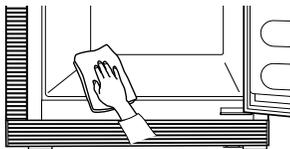
- フィルターをお手入れした後は手順にしたがって、必ずリセットボタンを押してください。フィルター掃除お知らせ機能は、汚れとともにお手入れ後の経過時間もカウントしています。リセットボタンが押されてはじめてフィルター掃除お知らせ機能が正常に働きます。
- フィルターをお手入れするときは、本体の底に手を入れないでください。金属の断面などで、怪我をすることがあります。

庫内、ワイン棚、ドアパッキンの清掃

柔らかい布でから拭きしてください。

汚れが落ちにくいときは薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水を含ませた布で良く洗剤を拭き取ってください。

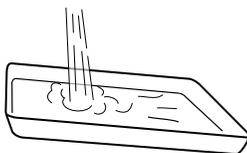
ワイン棚は取り外して、丁寧に拭いてください。



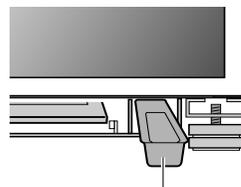
しつど

湿度調節ボックス、水受けトレイの清掃

湿度調節ボックス、水受けトレイは外して、水洗いして、良く乾かしてからセットしてください。



湿度調節ボックス



水受けトレイ

お手入れのしかた(つづき)

お知らせ

清掃のときは、次の製品は使わないでください。

- 「アルカリ性」または「弱アルカリ性」洗剤(洗剤のラベルに表示されています。)プラスチック製品にひびが入る恐れがあります。
- みがき粉、粉石鹼などや、たわし、ナイロンたわし、研磨粒子付き不織布などや酸、ベンジン、シンナー、アルコールなどの薬品プラスチック製品に傷が付いたり塗装面を痛めます。
- 化学ぞうきんは庫内に使わないでください。そのほかの部分は化学ぞうきんの注意書きにしたがってください。
油が付着したときは、必ずふき取ってください。

長年ご愛用のワインセラーの点検を!



愛情点検

このような症状はありませんか?

- 電源コードに傷がある
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- その他の異常がある。

使用中止



故障や、事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、弊社カスタマーサポートセンターまで点検・修理をご相談ください。



ヒント

停電をしたときは

ドアの開閉をせず、ワインの出し入れをししないで、庫内温度を保つようにしましょう。

長期間使わないときは

電源プラグを抜いて、庫内を良く乾拭きして、2~3日ドアを開けておくとカビや、においの発生を防げます。

庫内温度の計りかた

ワインセラーの庫内の温度は、ワインセラーの据え付け状態や外気温、使用条件などによって変化します。しかし中のワインはほとんどが水分のため、比熱が大きくその温度は空気のように大きく変化しません。従って、一般の空気温度を測る温度計では、変化の少ないワインの温度の測定ができません。なお、一般のアルコール温度計で庫内のワインの温度に相当する値を測る場合は、庫内中段の棚の中央に約100ccの水を入れた容器を置き、感温部を水中に3時間程度浸しておきますと、ワインの温度に近い温度が得られます。

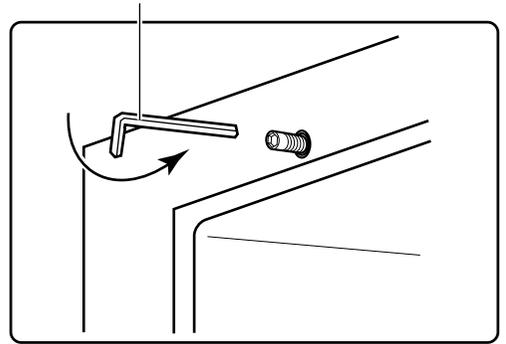
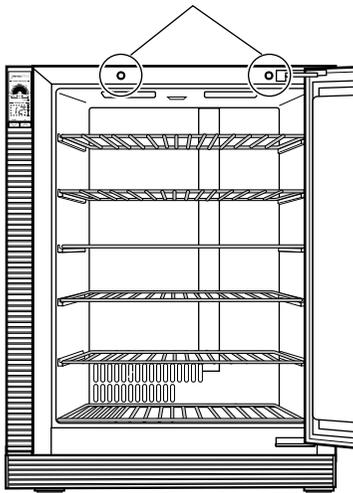
キッチンインストール用止め金具の取り付けかた

本機をシステムキッチンに収納して取り付ける場合には、付属の止め金具を使って、取り付けます。それ以外の場合は、付属の止め金具を使いませんので大切に保存して置いてください。

- 1** 本体に取り付けてあるネジを市販の六角レンチで取り外します。(2ヶ所)

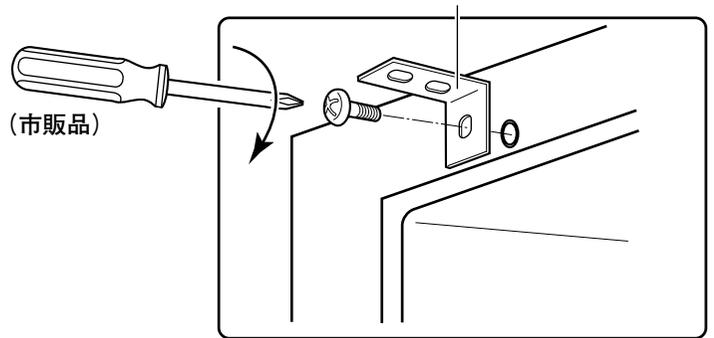
六角レンチ(市販品)

右の図のように、この2ヶ所のネジを取り外し、止め金具を付属のネジで取り付けます。



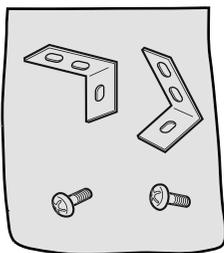
- 2** 付属のネジで止め金具を取り付けます。(2ヶ所)

止め金具

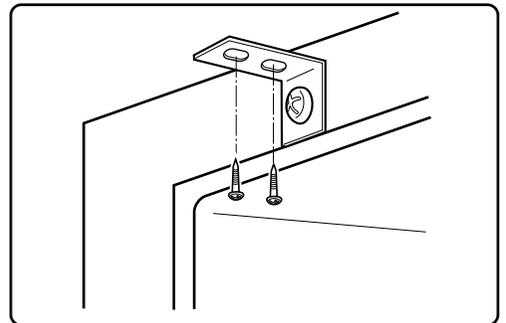


- 3** 木ネジなどで止め金具をシステムキッチンに取り付けます。

付属インストール用止め金具セット



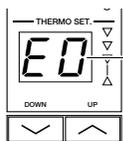
ネジサイズ：
M4×10



※ システムキッチンに取り付けるための木ネジなどは付属していません。施工業者などにご相談ください。

こんな表示が出たときは

設定温度表示部に下のような表示が出たときは以下のことを確認してください。



庫内の温度が異常な場合など、E0、E1などの表示がでて、同時に警告音が鳴ってお知らせします。

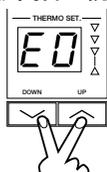
E0～E2の表示の場合、リセット操作をするまで表示と警告音が元に戻りません。リセットの方法はこの表の下を参照してください。

表示	意味	確認してください	対処のしかた
E0	放熱エラー	フィルターが汚れていませんか?	フィルターを取り外して、お手入れしてください。(19ページ参照)
		グリルがふさがれていたり、何かものが置かれていませんか?	本機の下側のグリルは空気の吸い込み口、製品の左側のグリルは吹き出し口です。グリルの前がふさがれないようにしてください。
		直射日光があたったり、近くでストーブなどの暖房器具を使用していませんか?	直射日光の当たらない所に設置してください。近くで暖房器具を使用しないでください。
E1	設置環境エラー	設置場所の温度が異常に低くないですか?	設置場所を変えてください。
		近くでストーブなどの暖房器具を使用していませんか?	近くで暖房器具を使用しないでください。
E2	庫内温度エラー	扉を長時間開けていませんか? ひんぱんに扉を開けていませんか?	庫内の冷えが悪くなります。扉を長時間開けたり、ひんぱんに開けないよう注意してください。
		フィルターが汚れていませんか?	フィルターを取り外して、お手入れしてください。(19ページ参照)
		グリルがふさがれていたり、何かものが置かれていませんか?	本機の下側のグリルは空気の吸い込み口、製品の左側のグリルは吹き出し口です。グリルの前がふさがれないようにしてください。
		直射日光があたったり、近くでストーブなどの暖房器具を使用していませんか?	直射日光の当たらない所に設置してください。近くで暖房器具を使用しないでください。
E3	閉め忘れエラー	扉を長時間開けていませんか? 扉がちゃんと閉まっていますか?	扉が閉まっているか確認してください。
E4～E7		故障の可能性がありますので、デバイススタイルカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。	

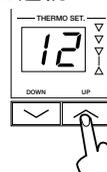
- 症状によっては複数のエラーが表示されることがあります。
- エラーの対処をしてリセット操作をしても、エラー表示が出る場合は故障の可能性がありますので、デバイススタイルカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

E0～E2表示、警告音の解除のしかた

- ① 温度設定ボタンのUP、DOWNを同時に5秒間押し続ける
- ② 表示が最初の設定温度で10秒間点滅します。
- ③ 温度表示が点滅している間にUPボタンを連続して3回押す。



5秒間押し続ける



3回押す

E3表示、警告音の解除のしかた

扉を閉めて5秒間経つと自動的に温度表示に戻り、警告音も止まります。

故障かな?と思われる前に

温度がおかしい、大きな音がする。などの障害と思われる症状があるときは、まず下の表の原因を調べてください。それでも不都合なときは**デバイススタイル カスタマー サポートセンター**に直接ご連絡ください。

電話 **048-664-3477**

症状	原因
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードがコンセントに根元まで差し込まれていますか? ● 停電していませんか? ● プレーカーが切れていませんか?
よく冷えない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ワインセラーに直射日光が当たったり、ストーブの熱が当たっていませんか? ● 電源を入れてから十分に時間がたっていますか? (外部の条件により1日ぐらいかかることがあります) ● フィルターにほこりがつまっていますか? ● グリル部分がシートなどでふさがれていませんか? ● ドアにすき間が空いたまま使用していませんか? ● ドアの開閉がひんぱんではありませんか?
音がうるさい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 全力運転中ではありませんか?庫内温度が安定するとファンが止まります。 ● 脚ががたついていませんか? (脚の高さを調節して、がたつかないようにしてください。) ● しっかりした床に設置してありますか? ● ワインセラーにもものに乗っていたり、微妙にもものが触れていませんか?
庫内に露が付く。	<ul style="list-style-type: none"> ● 庫内に金属を使っているため、露が付くことがあります。乾いた布でふき取ってください。 ● 湿度が高いときでも湿度調整ボックスを使っていますか? (冬場など湿度が低いとき以外は使わないでください。)
扉と本体の間に露が付く。	<ul style="list-style-type: none"> ● 外気の温度や、湿度によって、露が付くことがあります。乾いた布でふき取ってください。

保証とアフターサービス

保証書について

- 保証書は必ず「販売店、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

- この商品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

- 保証期間中は
保証の規定に従って修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
この場合、部品代の他に、技術料と、出張料がかかります。
- ご連絡先は
デバイススタイル カスタマー サポートセンターにご連絡ください。

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

電話 048-664-3477

e-mail: customer.support@devicestyle.co.jp

営業時間: 平日午前9時～午後6時 (土日、祝日及び長期休暇を除きます。)

交換部品について

下記の交換部品を用意してあります。お求めは上記 デバイススタイル カスタマー サポートセンターに直接ご連絡ください。

部品名	型番
ワイン棚A	D1020000100
ワイン棚B	D1020000200
ワイン棚C用支え	D1020000300
ワイン棚C	D1020000400
湿度調節ボックス	D2301000100
フィルター	D0211000200
アンダーグリル(ブラック)	D0206000100

部品名	型番
アンダーグリル(シルバー)	D0206000200
水受けトレイ	D2301000200
キーカバー(ブラック)	D0201000500
キーカバー(シルバー)	D0201000600
ドアパッキン	D0720000200
ドレインコック用キャップ	D0201000700

種類	家庭用電子式ワインセラー
定格内容積	100 L
収納本数	30本
外形寸法	(幅)598×(奥行)545×(高さ)818 (mm)
本体質量	43 kg
消費電力量	448 kWh/年
定格電圧/周波数	100V 50/60 Hz
定格消費電力	110 W
電源コード有効長さ	2 m

本機の仕様は改善のため、予告無く変更することがあります。

MEMO

**廃棄時にご注意
願います**

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのワインセラーを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

株式会社
デバイススタイル ホールディングス
〒107-0062 東京都港区南青山 5-9-6

サービス受付・修理品の送付先
デバイススタイル
カスタマー サポートセンター
電話：048-664-3477
〒331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

